

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No209号 2012.10.25
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

高裁勝利に向けて・控訴理由書を解く！シリーズ④

客室乗務員

940名新人採用するなら なぜ84名を戻さないのか

パイロット 81 名、客室乗務員 84 名が整理解雇されてから、わずか1年3ヵ月後に客室乗務員の大量新規採用が発表されました。2010年には解雇者を含め2,200名以上の客室乗務員が削減されましたが、会社は事業規模に見合った人員体制にするといいながら、実は大幅な人員不足を招いていたことが明らかです。

大量新規採用が示すもの

1. 解雇をする必要は全くなかった。

- 余剰だとして84名が解雇されたが、解雇時点で計画以上に在籍者数が減っていた。
- 解雇直後から人員不足が発生していた。そのため、2011年度客室乗務員人員計画では、一人当たりの稼働時間を5時間も増やした（「これ以上は乗務できない」という上限に限りなく近づけている）。

2. 解雇時点で人員状況を再度検討すれば、解雇を回避できた。裁判官もこれを精査しなかった。

3. 解雇後、退職者が止まらず深刻な人員不足が続いている。

退職者が止まらない

整理解雇後、どの職場で働く人たちも、労働強化の一方で賃金は切り下げられモチベーションが低下しています。そのため退職者が後を絶たず、人員不足に拍車をかけています。

職種	退職者数（JAL 本体のみ）
パイロット	98名（昨年1月～今年9月）
客室乗務員	950名（昨年1月～今年9月）
整備職	200名以上（昨年1月～今年7月）



たったの84名を職場に戻さないのは、
CCU組合潰しの意図が……

1,000名規模の新規採用をするなら、84名を職場に戻すのが常識です。また職場復帰を求めている原告に対して、再雇用を呼びかけることすらしないのは、CCU組合員を排除する不当労働行為であるからです。